

フェロモン剤で害虫を防除する

Q そもそもフェロモンってなに？

A フェロモンとは、昆虫が同種の仲間と情報伝達するために体内から体外に発する物質です。

フェロモンには、危険を伝える警報フェロモン、交尾や越冬などのために仲間の集合を促す集合フェロモン、餌のあるところを知らせる道しるべフェロモン、交尾が可能なことを知らせる性フェロモン等があります。

警報フェロモンのイメージ



道しるべフェロモンのイメージ



性フェロモンのイメージ



Q どの様にフェロモンを使って害虫を防除するの？

A さまざまな種類があるフェロモンの中で、性フェロモンの働きを利用します。

合成した性フェロモンの製剤で雌と雄の交尾を阻害することで、次世代の繁殖率を低下させ、農作地の害虫密度を低下させます。

※直接の殺虫作用はありません。

合成性フェロモン剤が作用

合成性フェロモンの作用により、雄と雌との交信がかく乱されます。



生態系に悪影響を与えない。

対象害虫にのみ作用するので生態系に悪影響がありません。また、直接の殺虫作用がないため対象害虫に対して抵抗性ができにくい利点があります。

交信かく乱剤とは

人工的に合成した性フェロモンを徐放性の容器に入れた製剤です。性フェロモンを圃場に充満させることにより、交尾をしようとする雌と雄の交信をかく乱させ、交尾を阻害します。

その結果…

交尾雌が減少

産卵数が減少

次世代の個体数が減少

さらに

効果が長い!

有効成分を徐放性の容器に入れているので、効果が長く3～4ヶ月持続します。

殺虫剤の散布回数減!

殺虫剤との体系防除で、本来の殺虫剤のみの防除よりも散布回数を減らせる可能性があります。

IPM(総合的防除)に使用可能!

対象害虫にのみ作用するので天敵を保護し、IPMに適しています。

幅広い作物に使える!

果樹類、野菜類の多くの作物に使用できます。

作物に合わせて自由に形状が変えられます!

りんご・なし・もも等の果樹類には
ディスペンサータイプ

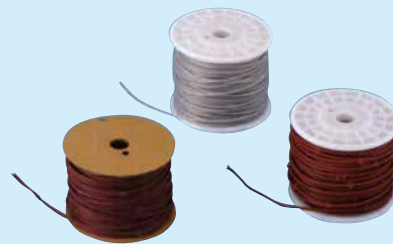


取り付け作業は
簡単

ディスペンサータイプの取付け例



野菜・サトウキビ等には
ロープ状製剤



畑に均一に
取り付けるだけ

ロープ状製剤の取付け例

